

第4回 栄養管理指導者協議会（京都テルサ）プログラム（案：12/28/2016）

当番会長：福井県立病院 栗山とよ子

会場：京都テルサ 日時：2017年3月11日

9:45 当番会長あいさつ（栗山）

1. 9:50～11:20 パネルディスカッション（1）

「経腸栄養投与システムの管理の実際：うちではこうしている」

司会、話題提供者（4人）は公募する

2. 11:20～12:00 教育講演

「栄養輸液、特にアミノ酸輸液製剤開発を顧みて：栄養リーダーとして知っておくべきこととは！」

3. 12:15 から 13:10 特別講演（岡田正メモリアルレクチャー）

「静脈栄養における微量元素の意義（仮題）」

4. 13:30～13:40 社団法人総会

5. 13:40～15:30 パネルディスカッション（2）

「高度の低栄養状態に陥っている症例に対する栄養管理：経験と反省と自施設の方針」

（司会、話題提供者、ディスカッサントは公募する）

6. 15:30～16:30 企業プレゼンテーション（60分）

7. 16:30～18:20 オープンパネルディスカッション：症例相談

相談者、回答者は公募する

2～3 症例：今後、どうすればいいのか、という内容とする。（症例検討は、面白いが、責め合いみたいな雰囲気もあり、症例提示してくれる方を選ぶのがむずかしい。）

5分程度で症例提示してもらい、回答者を中心に、フロアと共にどうすればいいのか、前向きな議論を進めてもらう。回答者は、ある程度の答えを出す必要がある。症例提示は、あらかじめ提出してもらっておき、回答内容などは、スクリーンに出しながら話を進める、というやり方。司会が大変です。3例、募集しておく。2例しか議論できないかもしれないが、それも、あらかじめ症例相談に応募してくる方には説明しておく。

8. 次回の案内（高崎総合医療センター 小川哲史）

9. 閉会あいさつ（栗山）